

3. 学校長挨拶

学校長 磯橋 文秀

大阪医療技術学園専門学校

医師、医学博士（大阪大学大学院医学研究科卒）

滋慶医療科学大学院大学 前教授 前図書館館長

大阪医療技術学園専門学校の建学・教育の理念の第一は「実学教育」、なかでも超高齢者社会がもっとも必要とする良質な医療・福祉および保健・健康を支える知識・技術を実践的に伝授することにあります。

しかし、努力を重ねて習得した折角の知識・技術も、豊かな「人間性」の裏打ちに欠けていますと宝の持ち腐れとなり、特に医療・福祉・保健・健康の世界でサービスを求める人達に十分に役立たせることはできません。ここに、人間性の涵養すなわち、「人間教育」を教育の第二の柱としている所以があります。さらに、日進月歩する医学・医療・福祉の世界には国境はありません。それぞれの分野の先進国から良いものがあれば積極的にどんどん取り入れ、取り込むことが必要です。医療・福祉・保健・健康技術のスペシャリスト、エキスパートを目指す学生諸君は、誰にもまして、世界を見渡し、広い視野に立って、在学中から研鑽を積むことが必要です。本校では建学以来、「国際教育」を教育理念の第三の柱として参りました。具体的には、アメリカ合衆国、中華人民共和国等に信頼できる多数の海外提携校が確保され、海外研修、留学、学術交流、新しい教育方法の導入等、国際教育のための基盤・環境が整備されています。また、平成23年度から滋慶医療科学大学院大学の設置が認められ、日本で初めての医療安全管理学修士の教育を行うこととなり、卒業後の更なる発展も期待できます。さらに、平成26年度から、本学園は「職業実践専門課程」が各学科で認められ、輝かしい発展を遂げています。

専門学校の任務は、職場で「即戦力」として役立つ知識・技術を習得した優れた人材を社会に送り出すことにあります。大阪医療技術学園専門学校では、学生諸君が「専門士」の称号、「臨床検査技師」「はり師」「きゅう師」「言語聴覚士」などの国家資格を始めとする各種の資格を取得するよう指導する最小限の要求に応えることに加えて、職場での将来的なニーズの進化に対応できる潜在能力（基礎学力）を日常的に養うことをも教育目標としています。努力と創意工夫を凝らして、これらのニーズを両立させることが学校と学生諸君との双方に課せられた課題と言えましょう。

大阪医療技術学園専門学校には、具体的かつ確固とした理念の下に学生諸君の指導に努め、社会的に高い評価を勝ち取っている数少ない医療系専門学校の代表校としての実績があります。医療技術を通じて社会に貢献することを志す若さと気力に溢れて本校に入学された諸君！私ども教職員と力を合わせ、健康で、豊かで、人にやさしい社会作りに向けて前進しましょう。